

2019年度

シラバス

6年次

医療行動科学9



日本大学松戸歯学部

2019年度 6年次前期 医療行動科学9 シラバス

1. **実施時期**：平成31年4月1日～6月30日

2. 一般目標(GIO)

臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。

3. 行動目標(SBOs)

- 1) 主文の解釈ができる。
- 2) 検査結果の解釈ができる。
- 3) 視覚素材の臨床的解釈ができる。
- 4) 出題者の意図を読み解くことができる。

4. 講義実施要項

- 1) 実施場所：400教室
- 2) 講義日時：8：40～12：30

5. 平常試験①～③

MCQ形式の試験とする。

歯科医師国家試験の改変問題又はオリジナル問題36問とする。なお、平常試験の追試験は行わない。

	分野（問題数）	合計	出題範囲
平常試験① (5/7)	修復(3)、歯内(3)、小児(3)、歯周(3)、矯正(3)、麻酔学(3)、口腔外科(3)、放射線(3)、全部床義歯(3)、局部床義歯(3)、クラウンブリッジ(3)、インプラント(3)	36題	医療行動科学9 ①1～3
平常試験② (6/3)	修復(3)、歯内(3)、歯周(3)、小児(3)、矯正(3)、麻酔学(3)、口腔外科(3)、放射線(3)、局部床義歯(3)、クラウンブリッジ(3)、口腔機能(3)	36題	医療行動科学9 ②1～3
平常試験③ (6/17)	修復(3)、歯内(3)、歯周(3)、小児(3)、障害者歯科(3)、麻酔学(3)、顎顔面外科(6)、臨床検査(2)、病理(1)、全部床義歯(3)、クラウンブリッジ(3)、インプラント(3)	36題	医療行動科学9 ③1～3

6. 総合試験

MCQ形式の試験とする。課題別講義総合試験と同日実施

	分野（問題数）	合計	出題範囲
総合試験 (6/24)	修復(3)、歯内(3)、歯周(3)、小児(3)、矯正(2)、障害者歯科(1)、口腔外科(2)、麻酔学(3)、顎顔面外科(2)、放射線(2)、臨床検査(1)、病理(1)、全部床義歯(3)、局部床義歯(3)、クラウンブリッジ(3)、インプラント(2)、口腔機能(1)	38題	医療行動科学9

7. 追・再試験

MCQ形式の試験とする。課題別講義追・再試験と同日実施

	分野（問題数）	合計	出題範囲
追・再試験 (6/29)	修復(3)、歯内(3)、歯周(3)、小児(3)、矯正(2)、障害者歯科(1)、口腔外科(2)、麻酔学(3)、顎顔面外科(2)、放射線(2)、臨床検査(1)、病理(1)、全部床義歯(3)、局部床義歯(3)、クラウンブリッジ(3)、インプラント(2)、口腔機能(1)	38 題	医療行動科学 9

8. 評価

平常試験①②③（40%）及び総合試験（60%）で算出した正答率が70%以上の者を医療行動科学9の合格者とする。合格基準に達しなかった者に対し再試験を行う。再試験の合格判定基準は正答率が70%以上とし、総合試験及び平常試験結果を合格判定に加味できる。総合試験欠席者には追試験を実施することがある。

2019年度 医療行動科学9 日程表

出席確認 8:35～8:40

月 日	曜	講義(試験)時間	コース	オーガナイザー	担当講座・分野	講義担当者
4月6日	土	8:40～9:30	医療行動科学①-1	岩井啓寿	保存修復学	岩井啓寿
		9:40～10:30		下坂典立	歯科麻酔学	下坂典立
		10:40～11:30		五関たけみ	歯科矯正学	五関たけみ
		11:40～12:30		木本統	有床義歯補綴学	中田浩史
4月13日	土	8:40～9:30	医療行動科学①-2	神尾直人	歯内療法学	神尾直人
		9:40～10:30		山本泰	口腔外科学	山本泰
		10:40～11:30		岡本京	小児歯科学	岡本京
		11:40～12:30		渚上真奈	放射線学	村岡宏隆
4月20日	土	8:40～9:30	医療行動科学①-3	飯島守雄	有床義歯補綴学	石井智浩
		9:40～10:30		田中孝明	クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学	田中孝明
		10:40～11:30		村上洋	クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学	井下田繁子
		11:40～12:30		高井英樹	歯周治療学	高井英樹
4月27日	土	8:40～9:30	医療行動科学②-1	岩井啓寿	保存修復学	岩井啓寿
		9:40～10:30		下坂典立	歯科麻酔学	鈴木正敏
		10:40～11:30		五関たけみ	歯科矯正学	五関たけみ
		11:40～12:30		木本統	有床義歯補綴学	矢崎貴啓
5月7日	火	9:00～11:00	平常試験① 4月6日から4月20日の範囲	6年次教育主任		
5月18日	土	8:40～9:30	医療行動科学②-2	高井英樹	歯周治療学	高井英樹
		9:40～10:30		山本泰	口腔外科学	山本泰
		10:40～11:30		岡本京	小児歯科学	岡本京
		11:40～12:30		渚上真奈	放射線学	村岡宏隆
5月25日	土	8:40～9:30	医療行動科学②-3	飯島守雄	有床義歯補綴学	伊藤誠康
		9:40～10:30		田中孝明	クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学	田中孝明
		10:40～11:30		小見山道	口腔健康科学顎口腔機能治療学分野	飯田崇
		11:40～12:30		神尾直人	歯内療法学	神尾直人
6月1日	土	8:40～9:30	医療行動科学③-1	岩井啓寿	保存修復学	岩井啓寿
		9:40～10:30		下坂典立	歯科麻酔学	下坂典立
		10:40～11:30		五関たけみ	障害者歯科学	梅澤幸司
		11:40～12:30		木本統	有床義歯補綴学	木本統
6月3日	月	9:00～11:40	平常試験② 4月27日から5月25日の範囲	6年次教育主任		
6月8日	土	8:40～9:30	医療行動科学③-2	青木暁宣	顎顔面外科学	枝卓志
		9:40～10:30		神尾直人	歯内療法学	神尾直人
		10:40～11:30		岡本京	小児歯科学	岡本京
		11:40～12:30		渚上真奈	口腔健康科学歯科臨床検査医学分野 病理学	渚上真奈 宇都宮忠彦
6月15日	土	8:40～9:30	医療行動科学③-3	青木暁宣	顎顔面外科学	枝卓志
		9:40～10:30		田中孝明	クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学	田中孝明
		10:40～11:30		村上洋	クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学	井下田繁子
		11:40～12:30		高井英樹	歯周治療学	高井英樹
6月17日	月	9:00～11:40	平常試験③ 6月1日から6月15日の範囲	6年次教育主任		
6月24日	月	9:00～11:40	総合試験	6年次教育主任		
6月29日	土	9:00～11:40	追・再試験	6年次教育主任		

講義日	時限	国試出題基準
04月06日	1時限	各論-Ⅱ-1-ウ-b

担当者 *岩井 啓寿

テーマ： メディカルプレゼンテーション①（保存修復学）

授業の一般目標： 保存修復学領域における研究マインドの育成を図るため、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」
- 2) 与えられた保存修復学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。
- 3) 与えられた保存修復学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 4) 与えられた保存修復学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：国家試験過去問題（保存修復領域）
- ・事前学修時間：30分
- ・事後学修項目：講義内容周辺知識の再確認
- ・事後学修時間：60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月06日	2時限	各論-Ⅲ-4-セ-b

担当者 *下坂 典立

テーマ： メディカルプレゼンテーション（歯科麻酔学①：第112回歯科医師国試 B-81 問題）

授業の一般目標： 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 歯科麻酔学領域臨床実地問題の主文の解釈ができる。
- 3) 歯科麻酔学領域臨床実地問題の検査結果の解釈と視覚素材の判断ができる。
- 4) 歯科麻酔学領域臨床実地問題の視覚素材の臨床的解釈ができる。
- 5) 歯科麻酔学領域臨床実地問題の出題者の意図を読み解くことができる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：第112回歯科医師国家試験臨床実地問題（歯科麻酔学領域:B-81）と心電図検査に関連する過去問題を解く。
- ・事前学修時間：45分
- ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。
- ・事後学修時間：60分

講義日	時限	国試出題基準
04月06日	3時限	各論-I-7-エ

担当者 *五関 たけみ

テーマ： メディカルプレゼンテーション（歯科矯正学①）

授業の一般目標： 歯科矯正学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 3) 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 4) 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例について、分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：治療計画の立案に必要なデータの分析について
- ・事前学修時間：60分
- ・事後学修項目：問題点のリストアップとその解決法について
- ・事後学修時間：60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月06日	4時限	各論-IV-5-イ-e

担当者 *中田 浩史

テーマ： メディカルプレゼンテーション（全部床義歯学①）

授業の一般目標： 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 全部床義歯装着者の臨床症例において、その問題点を抽出できる。
- 3) 全部床義歯装着者の臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。
- 4) 全部床義歯装着者の臨床症例において、分析結果の発表ができる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 事前学習項目：歯科医師国家試験臨床実地問題全部床義歯領域領域過去問を自学自習する。
- 事前学習時間：60分
- 事後学修項目：授業時配布資料を用いた内容確認と整理
- 事後学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
04月13日	1時限	各論-Ⅱ-2-ア-b

担当者 *神尾 直人

テーマ： メディカルプレゼンテーション（歯内療法学①）

授業の一般目標： 歯内療法領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 与えられた歯内療法領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 3) 与えられた歯内療法領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 4) 与えられた歯内療法領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目 105-110回 歯科医師国家試験 歯内分野 臨床実地問題
- ・事前学修時間：60分
- ・事後学修項目：授業時配布プリントを確認する。
- ・事後学修時間：60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月13日	2時限	各論-Ⅲ-1-オ-d

担当者 *山本 泰

テーマ： メディカルプレゼンテーション（口腔外科学①）

授業の一般目標： 口腔外科領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 3) 与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 4) 与えられた口腔外科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 事前学修項目：第105-112回歯科医師国家試験臨床実地問題（口腔外科学領域）と平成30年度に行われた模試の臨床実地問題（口腔外科学領域）を解く。
事前学修時間：60分
事後学修項目：講義で習得した内容を踏まえ、歯科医師国家試験臨床実地問題に再度取り組む。
事後学修時間：60分

講義日	時限	国試出題基準
04月13日	3時限	各論-Ⅱ-1-エ-a

担当者 *岡本 京

テーマ： メディカルプレゼンテーション（小児歯科学①）

授業の一般目標： 小児歯科領域における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 与えられた小児歯科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 3) 与えられた小児歯科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 4) 与えられた小児歯科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目： 歯科医師国家試験臨床実地問題（小児歯科学領域）を解く。

事前学修時間： 60分

事後学修項目： 授業配布の資料の内容確認と整理

事後学修時間： 60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月13日	4時限	総論-VI-2-コ-a

担当者 *村岡 宏隆

テーマ： メディカルプレゼンテーション（放射線学）①

授業の一般目標： 放射線領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い。そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 与えられた放射線領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 3) 与えられた放射線領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。
- 4) 与えられた放射線領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目： 5年次までに配布したプリント、ノートや実習書を見直しておくこと。
- ・事前学修時間： 40分

- ・事後学修項目： 授業時配布のプリントを見直し、類似した国家試験問題を復習しておくこと。
- ・事後学修時間： 1時間

講義日 時限 国試出題基準
04月20日 1時限 各論-IV-2-エ 各論-IV-2-ウ

担当者 *石井 智浩

テーマ： メディカルプレゼンテーション（局部床義歯学②）

授業の一般目標： 局部床義歯領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の情報収集と診断を行い、結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、その問題点を抽出できる。
- 3) 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。
- 4) 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、分析結果の発表ができる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：第112回歯科医師国家試験の臨床実地問題の事前学習
事前学修時間：1時間程度必要とする
事後学修項目：第112回歯科医師国家試験の臨床実地問題の事後学修
事後学修時間：1時間程度の事後学習を必要とする。

=====

講義日 時限 国試出題基準
04月20日 2時限 総論-VII-2-ア-a 総論-VII-2-ア-d

担当者 *田中 孝明

テーマ： メディカルプレゼンテーション（クラウンブリッジ補綴学①）

授業の一般目標： 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の主文の解釈ができる。
- 3) クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の検査結果の解釈ができる。
- 4) クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の視覚素材に対する臨床的解釈ができる。
- 5) クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の出題者の意図を読み解くことができる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：112回歯科医師国家試験臨床実地問題クラウンブリッジ領域と平成30年度に行われた模試の問題（臨床実地問題クラウンブリッジ領域）を解く。
事前学修時間：30分
事後学修項目：授業プリントの復習，不足している知識の補充
事後学習時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
04月20日	3時限	各論-IV-6-イ-e 各論-IV-6-イ-h 各論-IV-6-ア-a

担当者 *井下田 繁子

テーマ： メディカルプレゼンテーション（口腔インプラント学①）

授業の一般目標： 口腔インプラント学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、収集した臨床的問題点に分析を加え、総括ができる。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 口腔インプラント治療に関する臨床上的の問題点を抽出できる。
- 3) 口腔インプラント治療の臨床的問題点について分析し、適切な総括ができる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：112回歯科医師国家試験臨床実地問題（口腔インプラント領域）を解く。
- ・事前学修時間：45分
- ・事後学習項目：授業時配布資料および歯科医師国家試験臨床実地問題（口腔インプラント領域）の復習
- ・事後学習時間：30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月20日	4時限	各論-II-3-ウ-d

担当者 *高井 英樹

テーマ： メディカルプレゼンテーション（歯周治療学①）

授業の一般目標： 歯周治療学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。
- 3) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 4) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 事前学修項目：112回歯科医師国家試験臨床実地問題歯周治療学領域を解く。
- 事前学修時間：60分
- 事後学習項目：授業配布プリントを熟読する。
- 事後学習時間：1時間

講義日	時限	国試出題基準
04月27日	1時限	各論-Ⅱ-1-ア-c

担当者 *岩井 啓寿

テーマ： メディカルプレゼンテーション②（保存修復学）

授業の一般目標： 保存修復学領域における研究マインドの育成を図るため、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」
- 2) 与えられた保存修復学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。
- 3) 与えられた保存修復学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 4) 与えられた保存修復学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：国家試験過去問題（保存修復領域）
- ・事前学修時間：30分
- ・事後学修項目：講義内容周辺知識の再確認
- ・事後学修時間：60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月27日	2時限	各論-Ⅲ-4-セ-b

担当者 *鈴木 正敏

テーマ： メディカルプレゼンテーション（歯科麻酔学②）：第112回歯科医師国試 A-17 問題）

授業の一般目標： 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 歯科麻酔学領域臨床実地問題の主文の解釈ができる。
- 3) 歯科麻酔学領域臨床実地問題の検査結果の解釈と視覚素材の判断ができる。
- 4) 歯科麻酔学領域臨床実地問題の視覚素材の臨床的解釈ができる。
- 5) 歯科麻酔学領域臨床実地問題の出題者の意図を読み解くことができる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：第112回歯科医師国家試験臨床実地問題（歯科麻酔学領域:A-17）と関連する過去問題を解く。
- ・事前学修時間：45分
- ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。
- ・事後学修時間：60分

講義日	時限	国試出題基準
04月27日	3時限	各論-I-7-エ

担当者 *五関 たけみ

テーマ: メディカルプレゼンテーション (歯科矯正学②)

授業の一般目標: 歯科矯正学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs:

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 3) 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 4) 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例について、分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間:

- ・事前学修項目: 治療計画の立案に必要なデータの分析について
- ・事前学修時間: 60分
- ・事後学修項目: 問題点のリストアップとその解決法について
- ・事後学修時間: 60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月27日	4時限	各論-IV-5-イ-e

担当者 *木本 統、*矢崎 貴啓

テーマ: メディカルプレゼンテーション (全部床義歯学②)

授業の一般目標: 全部床義歯領域における研究マインドの育成を図るために、歯科医学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、その結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs:

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 1. 全部床義歯装着者の臨床症例において、その問題点を抽出できる。
- 3) 2. 全部床義歯装着者の臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。
- 4) 3. 全部床義歯装着者の臨床症例において、分析結果の発表ができる。

準備学修項目と準備学修時間:

- 事前学習項目: 歯科医師国家試験臨床実地問題全部床義歯領域領域過去問を自学自習する。
- 事前学習時間: 60分
- 事後学修項目: 授業時配布資料を用いた内容確認と整理
- 事後学修時間: 30分

講義日 時限
05月07日 1時限

担当者 6年次学年教育主任、*木本 統

テーマ： 平常試験①

準備学修項目と準備学修時間：

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月18日	1時限	各論-II-3-U-d

担当者 *高井 英樹

テーマ： メディカルプレゼンテーション（歯周治療学②）

授業の一般目標： 歯周治療学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。
- 3) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 4) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：111回歯科医師国家試験臨床実地問題歯周治療学領域を解く。
事前学修時間：60分
事後学修項目：授業配布プリントを熟読する。
事後学修時間：1時間

講義日	時限	国試出題基準
05月18日	2時限	各論-I-1-a-b

担当者 *山本 泰

テーマ: メディカルプレゼンテーション(口腔外科学②)

授業の一般目標: 口腔外科領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs:

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 3) 与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 4) 与えられた口腔外科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間:

事前学修項目: 第105-112回歯科医師国家試験臨床実地問題(口腔外科学領域)と平成30年度に行われた模試の臨床実地問題(口腔外科学領域)を解く。
事前学修時間: 60分
事後学修項目: 講義で習得した内容を踏まえ、歯科医師国家試験臨床実地問題に再度取り組む。
事後学修時間: 60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月18日	3時限	各論-I-4-ウ

担当者 *岡本 京

テーマ: メディカルプレゼンテーション(小児歯科学②)

授業の一般目標: 小児歯科学領域における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs:

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 与えられた小児歯科学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 3) 与えられた小児歯科学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 4) 与えられた小児歯科学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間:

事前学修項目: 歯科医師国家試験臨床実地問題(小児歯科学領域)を解く。
事前学修時間: 60分
事後学修項目: 授業配布の資料の内容確認と整理
事後学修時間: 60分

講義日 時限 国試出題基準
05月18日 4時限 総論-VI-2-コ-a

担当者 *村岡 宏隆

テーマ： メディカルプレゼンテーション（放射線学）②

授業の一般目標： 放射線領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 与えられた放射線領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。
- 3) 与えられた放射線領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。
- 4) 与えられた放射線領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：5年次までに配布したプリント、ノートや実習書を見直しておくこと。
- ・事前学修時間：40分
- ・事後学修項目：授業時配布のプリントを見直し、類似した国家試験問題を復習しておくこと。
- ・事後学修時間：1時間

=====

講義日 時限 国試出題基準
05月25日 1時限 総論-VII-2-A-d

担当者 *伊藤 誠康

テーマ： メディカルプレゼンテーション（局部床義歯学②）

授業の一般目標： 局部床義歯領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の情報収集と診断を行い、結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、その問題点を抽出できる。
- 3) 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。
- 4) 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、分析結果の発表ができる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 事前学修項目：第111回歯科医師国家試験問題
- 事前学修時間：60分
- 事後学修項目：第111回歯科医師国家試験の復習
- 事後学修時間：60分

講義日	時限	国試出題基準
05月25日	2時限	総論-VII-2-ア-a 総論-VII-2-ア-d

担当者 *田中 孝明

テーマ: メディカルプレゼンテーション (クラウンブリッジ補綴学②)

授業の一般目標: 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。

到達目標SBOs:

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の主文の解釈ができる。
- 3) クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の検査結果の解釈ができる。
- 4) クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の視覚素材に対する臨床的解釈ができる。
- 5) クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の出題者の意図を読み解くことができる。

準備学修項目と準備学修時間:

事前学修項目: 112回歯科医師国家試験臨床実地問題クラウンブリッジ領域と平成30年度に行われた模試の問題(臨床実地問題クラウンブリッジ領域)を解く。
事前学習時間: 30分
事後学修項目: 授業プリントの復習, 不足項目の補充
事後学習時間: 30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月25日	3時限	各論-IV-1-カ

担当者 *飯田 崇

テーマ: メディカルプレゼンテーション (顎口腔機能治療学①)

授業の一般目標: 顎口腔機能治療学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs:

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 与えられた顎口腔機能治療学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 3) 与えられた顎口腔機能治療学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 4) 与えられた顎口腔機能治療学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間:

事前学修項目: 顎口腔機能治療学領域における第112回歯科医師国家試験問題の事前提示による反転授業
事前学習時間: 30分
事後学修項目: 顎口腔機能治療学領域における第112回歯科医師国家試験問題の事前提示による反転授業
事後学習時間: 30分

講義日	時限	国試出題基準
05月25日	4時限	各論-Ⅱ-2-イ-c

担当者 *神尾 直人

テーマ： メディカルプレゼンテーション（歯内療法学②）

授業の一般目標： 歯内療法領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 与えられた歯内療法領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 3) 与えられた歯内療法領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 4) 与えられた歯内療法領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目 105-110回 歯科医師国家試験 歯内分野 臨床実地問題
- ・事前学修時間：60分
- ・事後学修項目：授業時配布プリントを確認する。
- ・事後学修時間：60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月01日	1時限	各論-Ⅱ-1-ウ-c

担当者 *岩井 啓寿

テーマ： メディカルプレゼンテーション③（保存修復学）

授業の一般目標： 保存修復学領域における研究マインドの育成を図るため、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」
- 2) 与えられた保存修復学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。
- 3) 与えられた保存修復学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 4) 与えられた保存修復学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：国家試験過去問題（保存修復領域）
- ・事前学修時間：30分
- ・事後学修項目：講義内容周辺知識の再確認
- ・事後学修時間：60分

講義日 時限 国試出題基準
06月01日 2時限 各論-Ⅲ-4-セ-b

担当者 *下坂 典立

テーマ: メディカルプレゼンテーション (歯科麻酔学③: 第112回歯科医師国試 B-73 問題)

授業の一般目標: 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 歯科麻酔学領域臨床実地問題の主文の解釈ができる。
- 3) 歯科麻酔学領域臨床実地問題の検査結果の解釈と視覚素材の判断ができる。
- 4) 歯科麻酔学領域臨床実地問題の視覚素材の臨床的解釈ができる。
- 5) 歯科麻酔学領域臨床実地問題の出題者の意図を読み解くことができる。

準備学修項目と準備学修時間:

- ・事前学修項目: 第112回歯科医師国家試験臨床実地問題 (歯科麻酔学領域: B-73) とアナフィラキシーショックに関連する過去問題を解く。
- ・事前学修時間: 45 分
- ・事後学修項目: 授業で配布した資料および講義中記載した内容。
- ・事後学修時間: 60 分

=====

講義日 時限 国試出題基準
06月01日 3時限 必修-1 2-イ-a 各論-V-6-ア-a 各論-V-6-ア-b 各論-V-6-イ 各論-V-7-ア-a 各論-V-7-ア-b 各論-V-7-ウ 各論-V-8-イ

担当者 *梅澤 幸司

テーマ: メディカルプレゼンテーション (障害者歯科学①)

授業の一般目標: 障害者歯科学領域における研究マインド育成を図るために歯科医学情報の収集と分析を行う。

到達目標 S B O s :

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 与えられた障害者歯科学領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。
- 3) 障害者歯科学領域における臨床症例の問題点について、適切な治療方針を立案できる。
- 4) 与えられた障害者歯科学領域における臨床症例の分析結果を理解できる。

準備学修項目と準備学修時間:

- ・事前学習項目: 学習媒体を用いた以下の項目を理解する。1) 行動調整 2) 歯科治療時に配慮すべき疾患・症候群 3) 摂食嚥下障害 4) 精神および行動の障害
- ・事前学習時間: 30分
- ・事後学修項目: 授業時配布資料を用いた内容確認と整理
- ・事後学修時間: 30分

講義日	時限	国試出題基準
06月01日	4時限	各論-IV-5-イ-c

担当者 *木本 統

テーマ： メディカルプレゼンテーション（全部床義歯学③）

授業の一般目標： 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 全部床義歯臨床実地問題の主文の解釈ができる。
- 3) 全部床義歯臨床実地問題の検査結果の解釈ができる。
- 4) 全部床義歯臨床実地問題の視覚素材の臨床的解釈ができる。
- 5) 全部床義歯臨床実地問題の題者の意図を読み解くことができる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学習項目： 歯科医師国家試験臨床実地問題全部床義歯領域領域過去問を自学自習する。
事前学習時間： 60分
事後学修項目： 授業時配布資料を用いた内容確認と整理
事後学修時間： 30分

講義日 時限
06月03日 1時限

担当者 6年次学年教育主任、*木本 統

テーマ： 平常試験②

準備学修項目と準備学修時間：

講義日	時限	国試出題基準
06月08日	1時限	各論-Ⅲ-2-ア-a

担当者 *枝 卓志

テーマ: メディカルプレゼンテーション(顎顔面外科学①)

授業の一般目標: 口腔外科領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs:

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する
- 2) 与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 3) 与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 4) 与えられた口腔外科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間:

事前学修項目: 第112回歯科医師国家試験臨床実地問題(口腔外科学領域)と平成30年度に行われた模試の臨床実地問題(口腔外科領域)を解く。
事前学修時間: 60分
事後学修項目: 講義で習得した内容を踏まえ、歯科医師国家試験臨床実地問題に再度取り組む。
事後学修時間: 60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月08日	2時限	各論-Ⅱ-2-イ-d

担当者 *神尾 直人

テーマ: メディカルプレゼンテーション(歯内療法学③)

授業の一般目標: 歯内療法領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs:

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 与えられた歯内療法領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 3) 与えられた歯内療法領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 4) 与えられた歯内療法領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間:

- ・準備学修項目 105-110回 歯科医師国家試験 歯内分野 臨床実地問題
- ・事前学修時間: 60分
- ・事後学修項目: 授業時配布プリントを確認する。
- ・事後学修時間: 60分

講義日	時限	国試出題基準
06月08日	3時限	各論-I-5-イ-b 各論-I-5-イ-a 各論-I-5-イ-c

担当者 *岡本 京

テーマ： メディカルプレゼンテーション（小児歯科学③）

授業の一般目標： 小児歯科領域における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 与えられた小児歯科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 3) 与えられた小児歯科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 4) 与えられた小児歯科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目： 歯科医師国家試験臨床実地問題（小児歯科学領域）を解く。
事前学修時間：60分
事後学修項目： 授業配布の資料の内容確認と整理
事後学修時間：60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月08日	4時限	総論-VI-3-ア-f 各論-III-4-サ

担当者 *瀧上 真奈、*宇都宮 忠彦

テーマ： 医療行動科学③-2（臨床検査医学・病理学）

授業の一般目標： 臨床検査・病理診断領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 以下の行動目標とその教授内容は臨床経験に基づいている。
- 2) 与えられた臨床検査領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。
- 3) 与えられた臨床検査領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 4) 与えられた病理診断領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。
- 5) 与えられた病理診断領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：5年次までに配布したプリント、ノートや実習書を見直しておくこと。
- ・事前学修時間：30分
- ・事後学修項目：授業時配布のプリントを見直し、類似した国家試験問題を復習しておくこと。
- ・事後学修時間：1時間

講義日	時限	国試出題基準
06月15日	1時限	各論-Ⅲ-1-オ-n

担当者 *枝 卓志

テーマ: メディカルプレゼンテーション(顎顔面外科学②)

授業の一般目標: 口腔外科領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs:

- 1) 臨床経験とに基づき以下の内容を教授する
- 2) 与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 3) 与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 4) 与えられた口腔外科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間:

事前学修項目: 第112回歯科医師国家試験臨床実地問題(口腔外科学領域)と平成30年度に行われた模試の臨床実地問題(口腔外科領域)を解く。
事前学修時間: 60分
事後学修項目: 講義で習得した内容を踏まえ、歯科医師国家試験臨床実地問題に再度取り組む。
事後学修時間: 60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月15日	2時限	総論-VII-2-ア-a 総論-VII-2-ア-d

担当者 *田中 孝明

テーマ: メディカルプレゼンテーション(クラウンブリッジ補綴学③)

授業の一般目標: 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。

到達目標SBOs:

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の主文の解釈ができる。
- 3) クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の検査結果の解釈ができる。
- 4) クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の視覚素材に対する臨床的解釈ができる。
- 5) クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の出題者の意図を読み解くことができる。

準備学修項目と準備学修時間:

事前学修項目: 111回歯科医師国家試験臨床実地問題クラウンブリッジ領域と平成30年度に行われた模試の問題(臨床実地問題クラウンブリッジ領域)
事前学習時間: 30分
事後学修項目: 授業プリントの復習、不足項目の補充
事後学習時間: 30分

講義日	時限	国試出題基準
06月15日	3時限	各論-IV-6-A-b 各論-IV-6-I-a 各論-IV-8-O-f

担当者 *井下田 繁子

テーマ: メディカルプレゼンテーション (口腔インプラント学②)

授業の一般目標: 口腔インプラント学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、収集した臨床的問題点に分析を加え総括ができる。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 口腔インプラント治療に関する臨床上的問題点を抽出できる。
- 3) 口腔インプラント治療の臨床的問題点について分析し、適切な総括ができる。

準備学修項目と準備学修時間:

- ・事前学修項目: 112回歯科医師国家試験臨床実地問題 (口腔インプラント領域) を解く。
- ・事前学修時間: 45分
- ・事後学習項目: 授業時配布資料および歯科医師国家試験臨床実地問題 (口腔インプラント領域) の復習
- ・事後学習時間: 30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月15日	4時限	各論-II-3-U-d

担当者 *高井 英樹

テーマ: メディカルプレゼンテーション (歯周治療学③)

授業の一般目標: 歯周治療学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。
- 3) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 4) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間:

- 事前学修項目: 110回歯科医師国家試験臨床実地問題歯周治療学領域を解く。
- 事前学修時間: 60分
- 事後学習項目: 授業配布プリントを熟読する。
- 事後学習時間: 1時間

講義日 時限
06月17日 1時限

担当者 6年次学年教育主任、*木本 統

テーマ： 平常試験③

準備学修項目と準備学修時間：

講義日 時限
06月24日 1時限

担当者 6年次学年教育主任、*木本 統

テーマ： 総合試験

準備学修項目と準備学修時間：

学生番号 _____ (院内番号) _____

氏 名 _____